

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成20年7月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・個人消費は、弱い動きとなっている。

大型小売店販売額は前年を下回り、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(4月)
公共工事請負金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を下回った。(5月)

産業面・・・生産は、このところ弱い動きがみられる。

鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(4月)

雇用面・・・有効求人倍率は、厳しい状況が続いている。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を上回った。(4月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を上回った。新規求人数は前年を下回った。(5月)

需要面の動き

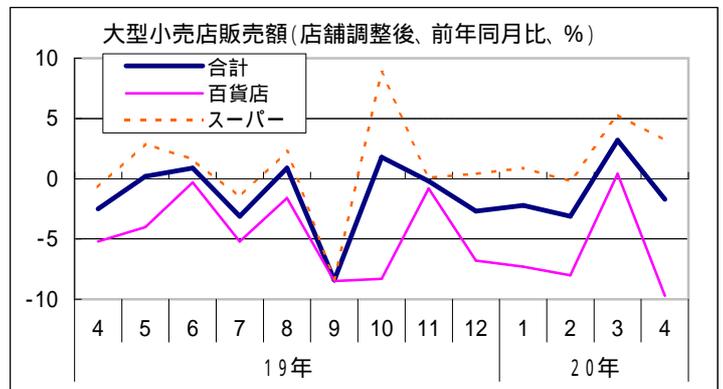
大型小売店販売額(4月)

全店舗の販売額は、52億8,620万円(前年同月比1.7%減)と2か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後でも2か月ぶりに前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	528,620	1.7 (1.7)
百貨店	183,602	9.7 (9.7)
スーパー	345,018	3.2 (3.2)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(4月)

32億9,088万円(前年同月比1.3%増)と2か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(5月)

1,378台(前年同月比3.4%減)と2か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、軽自動車の減少(前年同月比9.2%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(5月)

228戸(前年同月比52.1%減)と3か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比74.1%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(5月)

6億5,190万円(前年同月比91.9%減)と2か月続いて前年を下回った。用途別では、宿泊業、飲食サービス業用(前年同月比100.0%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(5月)

74億3,800万円(前年同月比9.0%増)と3か月続いて前年を上回った。発注者別の内訳では、国の増(前年同月比26.3%増)が大きな割合を占めた。

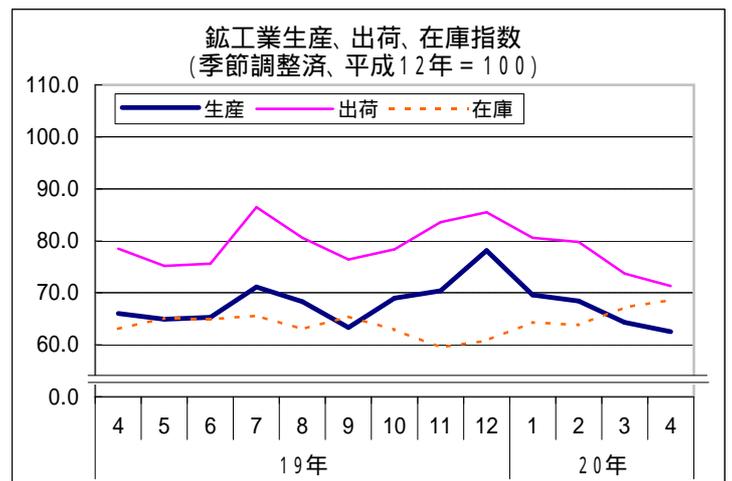
産業面の動き

鉱工業指数(4月)

生産指数(季節調整済)は62.5(前月比2.8%低下)と4か月続いて低下し、原指数は64.6(前年同月比3.6%低下)と2か月続いて低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が映像機械器具等の生産減により10.2%低下、食料品・たばこが1.3%低下、一般機械が19.8%上昇、繊維が2.9%低下した。

在庫指数(季節調整済)は68.6と前月比2.1%上昇した。



大口需要電力実績(4月)

127,900千kwh(前年同月比2.9%増)と8か月続いて前年を上回り、鉱工業は機械等が増加し2.2%増加した。

青果物卸売量(5月、鳥取市場)

野菜が1,725t(前年同月比0.2%増)と2か月続いて前年を上回り、果実も749t(前年同月比5.8%増)と7か月続いて前年を上回った。

漁獲量(5月、境港)

8,933t(前年同月比23.2%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

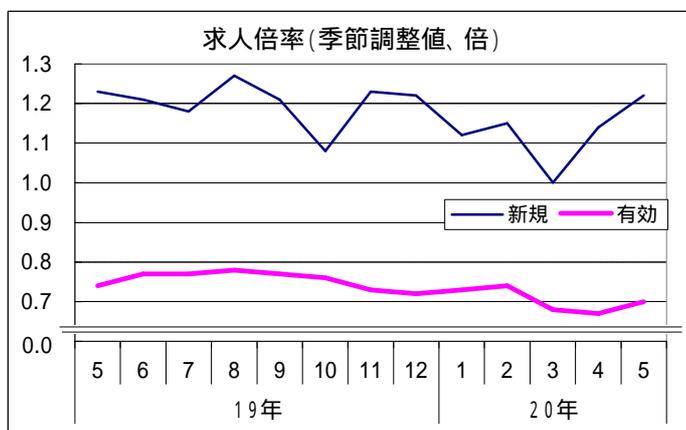
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(5月)

1.22倍(前月差0.08ポイント上昇、前年同月差0.01ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、3,827人(前年同月比7.3%減)と8か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(5月)

0.70倍(前月差0.03ポイント上昇、前年同月差0.04ポイント低下)と25か月続いて0.8倍を割っている。



現金給与総額(4月)

254,659円(前年同月比0.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、252,944円(前年同月比0.7%増)で3か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(4月)

9.9時間(前年同月比5.3%増)と3か月続いて前年を上回った。主力の製造業は2.9%減となった。産業別の前年同月比では、電気ガス水道業(前年同月比38.8%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比6.8%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(4月末)

預金残高は、1兆8,502億円(前年同月比0.3%減)と20か月ぶりに前年を下回り、貸出金残高は、1兆1,363億円(前年同月比1.0%減)と20か月続いて前年を下回った。

参考

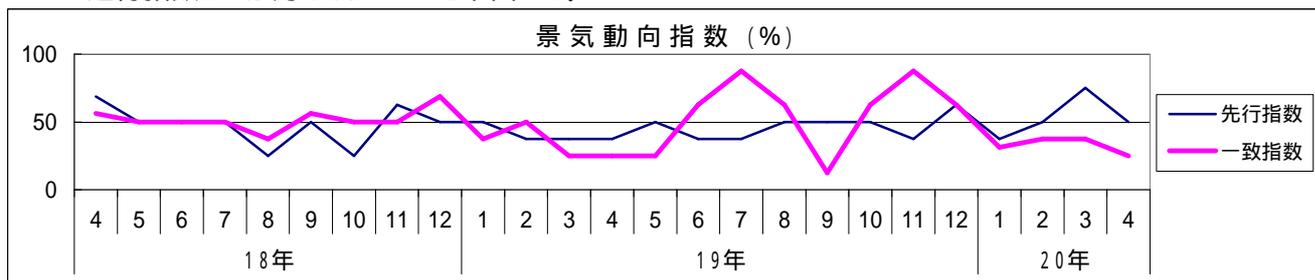
鳥取県景気動向指数(4月)

先行指数50.0%、一致指数25.0%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は50%となった。

一致指数は4か月続いて50%を下回った。

遅行指数は9か月ぶりに50%を下回った。



企業倒産(5月)

件数は4件(前年同月比33.3%減)で2か月ぶりに前年を下回り、負債総額は21億8,700万円(前年同月比83.5%増)で2か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数(5月、鳥取市、総合、平成17年=100)

101.1となり、前月比(0.9%上昇)は3か月続いて上昇し、前年同月比(1.9%上昇)は7か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(6月1日現在)

595,748人で、前月と比べて269人(0.05%)減少し、前年同月と比べて4,815人(0.80%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成20年5月調査)

平成20年4~6月期は、平成20年1~3月期に比べると景気、経常利益は不調であり、売上高はやや不調である。

平成20年7~9月期は、平成20年4~6月期に比べると景気、経常利益は不調となり、売上高はやや好調となる見通しとなっている。